

九州本部第37回定期大会について

日時 2021年 8月31日(月) 12:30～

場所 サンメッセ鳥栖

博多地区本部より、萩原弘司(博多車掌区)、香田賢晋(博多車掌区)、井上喜代彦(南福岡運転区)、岩田佳史(博多運転区)、佐藤康徳(久留米運輸センター)の5名が代議員として参加します。よろしくお願い致します。

※当日、10:30より労働講座が開始されます。

青年のひとりごと

一般的に、現状への「不満」を述べることは、他人を不快にさせる「愚痴」としてネガティブに捉えられます。中には「行動力がない」「わがまま」といった評価を下されることもあり、多くの人々が周囲から悪く思われたくないがために「不満」を口にするのを極力控えている印象です。しかし、反対に、「不満」のひとつすら出て来ない環境というはいかがでしょうか。ブラック企業の特徴の一つに「社員のモチベーションが高い」というのが挙げられます。これは、一見申し分ない事のようにも思えますが、こうした企業では、「やりがい」「スキルアップ」といった大義名分のもと、低賃金で膨大な量の仕事を社員に押し付けるという巧妙な手口による違法労働がまかり通っています。つまり、「社会常識」よりも「権威」が絶対視される環境にいと、現状を分析する能力が著しく低下してしまい、会社側のいびつな論理を真に受け、過労死ラインまで働いてしまうわけです。こうした事実から、「愚痴」というのは、今いる環境への問題意識の発露ともとれるため、空気を読めない人間による「迷惑行為」と一掃してしまうのはあまりに早計です。ただ、この「愚痴」に不快感を誘発する要素があるとすれば、それは、そのとき用いる言葉があまりに陳腐であること。心理学上の概念に「言語的隠蔽」というものがあります。これは一言で言うと「自分の感情をすぐに言語化してしまうと、心の深い所にある真の感情が分からなくなる」という現象のことです。思考を深め問題の核心に迫るよりもだいたい前の段階で、「むかつく」「ふざけるな」といった稚拙な言葉での感情的な反発をしてしまうと、それを耳にする側としては、何の知的好奇心も湧かずにただ退屈なだけです。つまり、「愚痴」が人を遠ざける原因は、「不満」を示すことではなく、「勉強不足」「語彙力の欠如」にあるわけです。巷では、多くの学者らが膨大な費用と時間をかけて社会の問題点を指摘しており、そのような内容の書籍も数知れず出版されていますが、これらを見て「つまらない愚痴」と思うことはまずありません。仮に、現状を正確に分析した上での問題提起に対して、「また愚痴かよ」といった反応があれば、それは、聞き手側の「意識の低さ」に問題があるといえます。

○当面する行動

- 8月16日(月) 18:30～/筑紫平和人権センター役員会 筑紫平和人権センター
- 8月22日(日) 10:30～/九条の会・映画鑑賞 クローバープラザ